

今年の夏も節電に取り組みましょう

家庭ですぐできる夏の節電 21

問い合わせ 環境課 ☎38-2051

昨年の東日本大震災の影響により、電力需給のバランスが極めて厳しい状況になっています。今回の震災については、私たち一人一人でもすぐに支援・協力できることはたくさんあり、そのひとつが節電です。今まで以上に省エネ・節電の努力が求められています。家庭やオフィスで、みんなが少しずつ節電の努力をすることが、安定した電力供給につながります。
ここでは、節電対策や省エネについてご紹介しますので、積極的に取り組んで行きましょう。

【屋外で】
窓に空気層のある断熱シートを貼る(もしくは内窓を設置する)
部屋の外によしずすだれを設置する
お風呂の残り湯で朝夕に打ち水をする

【リビングで】
扇風機・うちわなどを活用する
冷房の温度設定を28にする
冷房時にカーテンやブラインドを閉める



犬や猫などの適正な飼育・管理を

「芦屋市緑ゆたかな美しいまちづくり条例」で、愛がん動物の適正な飼育および管理について定めています。ペットのふん尿・鳴き声などで、周囲に迷惑をかけていないか点検し、マナーを守った飼い方を心がけるようにしてください。
また、猫については家の中で飼うようにし、外に出すことによるストレス、たとえば猫同士のけんかや伝染病の感染、交通事故に遭うことのないように守ってあげましょう。

《芦屋動物愛護協会からのお知らせ》

平成22年度の環境省の統計では、全国の自治体に収容され殺処分となった犬・猫は約21万頭(犬・5万3千頭/猫・16万頭)になっています。

【殺処分を減らすために私たちにできること】

安易に飼わない(衝動買いしない) 終生飼えるか家族で十分検討する 不妊手術を施し、繁殖させない 首輪には電話番号を書いた迷子札・鑑札などをつける 迷子になったらすぐに探し、関係機関や動物病院へ連絡する 飼えなくなっても絶対に捨てない(捨てるのは犯罪行為です) 猫は完全室内飼いにする 犬の行動心理としつけについての知識を持つ

【迷子になった(保護した)時の連絡先】

芦屋警察署(会計課) ☎23-0110
兵庫県動物愛護センター ☎06-6432-4599
隣接市の警察署と動物管理センター
市環境課 ☎38-2050(鑑札番号の照合等)



【飼い主のいない猫と平和に共生できる社会を目指して】

不妊手術を受けさせないまま、野良猫に餌を与え続けていると、ネズミ算的に繁殖し、やがては近隣住民とのトラブルに発展します。芦屋動物愛護協会では、不妊手術を目的とした猫の捕獲と病院搬送のサポートもしていますので、ご相談ください。
手術を終えた猫には、耳にV字カットの印を入れており、一代限りの命で繁殖はできません。そんな猫の存在を同じまちに住むものとして受け入れ、平和的共存ができる社会を作りたいと願っています。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ

芦屋動物愛護協会事務局 ☎38-2033(経済課内)

芦屋市聖苑(火葬場)からのお願い

故人の愛用品や思い出の品などの副葬品を、棺の中に納められると、火葬の際にご遺骨を傷つけたり、ご遺骨に付着することがあります。

有害なダイオキシン類の発生や、火葬炉の故障の原因ともなりますので、次のような副葬品は棺の中にお納めにならないように、ご協力をお願いします。

- プラスチック製品・化学繊維製品
釣竿・ゴルフ用品・テニスラケット・化繊の洋服・おもちゃ・人形・マージャンパイなど
- ガラス製品・金属製品・陶磁器類
ピン類・缶類・眼鏡・腕時計・硬貨・貴金属・茶碗など
- 燃えにくいもの
布団・毛布・書籍類・ドライアイス・果物など
- 危険物
スプレー缶・ガスライター・電池など

問い合わせ 聖苑管理事務所 ☎25-2478



節電ワンポイント

家庭の中で特に電気消費量が多いのは、エアコン(家庭全体の電気使用量の25.2%)、冷蔵庫(16.1%)、照明(16.1%)、テレビ(9.9%)の4つで、電気使用量の3分の2を占めています。

この電気消費量の多い家電を上手に使えば、節電の効果も大きくなります。また、日中のピーク時(午後1時~4時)を避けて電化製品を利用することも、電力供給の安定を保つために重要な方法です。



環境省ホームページでは、家庭やオフィスにおいての具体的な対策など、節電に役立つ情報を詳しくまとめた「みんなで節電アクション！」特設サイトを立ちあげ、節電を広く呼びかけています。

家庭で、オフィスで、みんなが少しずつ節電の努力をすることが、安定した電力供給につながります。さらには、ひとりひとりの節電がCO₂削減に、ひいては地球温暖化防止に貢献します。みんなで節電に取り組んでいきましょう！

■環境省ホームページ

<http://www.challenge25.go.jp/setsuden/>

エコクッキングで省エネ

- 水滴を拭いてから火にかけよう
水滴がついたまま火にかけると、残った水滴を蒸発させるために余分なエネルギーがかかってしまいます。
- 炎がはみださない火加減で調理しよう
炎は鍋底からはみ出さない程度が最も効率的。強火ではみ出した部分の熱は鍋に伝わらず、弱火すぎても時間がかかり、放熱する量が多くなってしまいます。
- 鍋にはふたをしよう
ふたをすると鍋に伝わる炎の熱を有効に利用することができます。鍋にふたをすれば時間もエネルギーも節約できます。
- 下ごしらえを工夫しよう
野菜の次に肉や魚を切ったり、上手に鍋や調理道具を使い回すことが大切です。また、野菜を煮るなどの下ごしらえは一度にまとめて行いましょう。少量の場合は、電子レンジで行うのも便利です。



《環境省ホームページより》